



本社/岐阜市を拠点には半世紀



環境整備もチーム活動の一つ



大垣支店/形を変えても残したい大切な建物を100年先まで生かします

第17回 トップインタビュー

# 内藤建設 株式会社

〒500-8645 岐阜県岐阜市六条南3丁目10-10 <https://naito-csc.jp/>  
創業/昭和22(1947)年3月 資本金/99,990,000円 代表取締役社長/内藤 宙 従業員数/118名(令和6年4月現在)  
事業内容/建築・土木工事の設計、施工、管理、宅地建物取引業



代表取締役社長 内藤 宙 さん

## 建物に、新築以上の付加価値をつける「リファイニング建築<sup>\*1</sup>」に取り組んでいます。

【若山】住宅から庁舎、商業施設、道路、河川工事まで、美濃尾張地方で幅広い事業をされていますね。

【内藤社長】当社は、先の大戦から帰還した曾祖父がふるさとの復興のために揖斐川町(岐阜県)に興した内藤組に始まります。型枠大工を皮切りに、ビル、病院、学校などの建設や道路・河川工事など、地域のニーズに合わせて業務を拡大していきました。現在は本社を岐阜市に移し、建築・土木の設計、施工、コンサルティング、不動産などを行う総合建設会社となっています。近年は再生建築に力を入れており、令和4(2022)年に東京事務所を設置しました。おかげさまで今春創業77周年、私は4代目にあたります。

初代から受け継いできた当社の経営理念は、「一.お客様の満足、二.会社の発展、三.社員の幸福」です。現在はこれを等号で結び、「CS(お客様の満足)=CS(会社の発展)=ES(社員の幸福)<sup>\*2</sup>」と表現しています。3つを等しく実現するのは難易度が高いのですが、社員一人ひとりがこの関係性を意識して行動規範とすることで、ESGやSDGsの実践につながっていくと考えています。経営は理念に始まり、理念に戻るものだと思います。私自身も迷った時はこの公式に立ち返り、いま何をすべきかを考えるようにしています。

【若山】大垣支店のリファイニング建築はとてもスタイリッシュで、ビフォーアフターに驚嘆しました。

【内藤社長】平成17(2005)年よりコツコツと青木茂さんと取り組んできたリファイニング建築が、近年注目を集めるようになりました。リファイニングは「建物の骨組みだけを再利用する新築」です。リペア(修繕)やリフォーム(設備の機能回復)、リノベーション(空間の性

能向上)とは規模も役割も異なります。リファイニング建築の目的は「既存の建物の長寿命化を図り、機能性やデザイン性を高める」ことです。古い骨組みをグラスファイバーなどでがっちり耐震補強した上で、配管や電気設備を一新します。大胆な意匠の転換や用途の変更も可能。工期の短縮と廃棄物(CO2排出)の減量ができ、建築コストを約30%削減できます。

昨今は、高度経済成長期に建てたビルや工場の老朽化が進み、解体か、建て替えかの決断を迫られるオーナーさんが増えています。その第3の選択肢であり、最有力候補がリファイニング建築です。大垣支社は、型枠大工出身の創業メンバーが建てた自社物件のうち、唯一現存するものです。リファイニング建築に際し、公的機関に鉄筋コンクリートの強度試験を依頼したところ、築50年超にもかかわらず「あと100年持つ」と診断されました。リファイニング建築で先達の優れた技術を知り得ただけでなく、当社のレガシーを100年先まで残せることに喜びを感じています。そして、このリファイニングこそが、当社の目指す「未来の事業モデル」と実感しています。

【若山】「建設ドクター<sup>\*3</sup>」という新しい概念も提案されています。

【内藤社長】持続可能な開発が求められる時代となり、建設業界も新しい局面を迎えています。資材の高騰や廃材の課題、少子高齢化に伴う人口減少など、今後ますます新築の需要が減って空き家や中古物件が増えていくことでしょう。その時お役に立てるのが当社の技術と専門知識、豊かな経験値だと思います。建設ドクターは、建物を専門とする「かかりつけ医」のイメージです。古くなった建物の健康状態を診断し、最善の治療(再生)を行います。また建設ドクターは古い物件だけでなく、建設に係わるあらゆるニ-

<sup>\*1</sup> 青木茂氏(一級建築士/青木茂建築工房代表)が提唱する再生建築手法  
<sup>\*2</sup> CustomerSatisfaction = CompanySatisfaction = EmployeeSatisfaction  
<sup>\*3</sup> 商標登録済み



ぎふ木遊館様 建築工事



技研サービス様 建築工事



垂井町役場様 建築工事



鍋屋バイテック会社様関工園倉庫 建築工事

ズにもお応えします。自然災害への備えや生活の変化に伴う増減築など、「何をどう依頼すればいいかわからないけど、一度来て見て話を聞いて!」というようご相談にもお応えしています。当社では、設計・施工からアフターフォロー、土地・建物の売買までをワンストップでできるだけでなく、美濃尾張の地の利や土地柄を活かしたプランも提案できます。お声がけくださったすべてのお客様に「内藤建設を選んでよかった」と喜んでいただけるように、一つ一つのご縁を大切にしています。

【若山】SDGsの実践やDX認定、健康経営など、社会の動きにもいち早く対応されています。

【内藤社長】世の中のニーズは世界のニーズであり、時代の流れは人の心の流れ(動き)と捉えています。企業姿勢の「見える化」は経営上必要ですが、当社では認定の取得そのものを目的にしていません。ワークライフバランスやダイバーシティなど課題はたくさんありますから、業務の効率化や品質向上、環境改善を図るために国際基準や各種認定制度を取り入れさせていただいています。当社には、通常業務を行う縦の組織とチーム活動を行う横の組織があります。縦軸が、営業や設計などの職種別に編成される「部」で、横軸が、各部を横断して編成しDXなどの課題に取り組む「チーム」です。社員は必ず縦横2つの組織に所属して、多様な視点や考

え方にふれながら、ともに成長していくことを目指しています。チーム活動にはミッションがあり、安全運転・健体、健心、健脳、SDGs、ES、DX/早帰り、広報、採用などのチームがあります。年末には、チームごとに一年間の活動計画を動画にまとめ、発表しています。社員の投票で高評価を得たチームには表彰状と金一封を贈呈するなど、楽しみながら活動できるように工夫しています。当社の強みは、創業以来積み重ねてきた技術力と人間力です。例えば、リファイニング建築では古い躯体に歪みや欠損などが出るため、新築のように寸法通りにいきません。当社の設計士や施工管理技士、職人さんは、その場で考え、話し合い、対処する力を持っています。喫緊の課題は高齢化。経験豊かな技術者が一線から退く前に、若い世代に知識や技術を受け継ぐ必要があります。当社では、技術と人間力を磨く場として15年前より「木鶏会<sup>\*4</sup>」を行っています。目的は、ミスや不正が起こった時に声に出しやすい、フォローしやすい環境をつくること。お互いの価値観を知り認め合うことで、豊かな人間関係が築けると考えているからです。

<sup>\*4</sup> 同じ記事を読んで自由にディスカッションする会

【若山】モノづくりは組織づくり、人づくりでもありますね。本日はありがとうございました。

語り手/内藤建設株式会社 内藤 宙 さん  
聞き手/大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 部長 若山 謙一

西濃地域の  
おすすめ  
ショップ紹介

カフェ&シェアスペース  
トナリガカワ  
TONARI GA KAWA

週替わりのオリジナルカレー(数量限定)

ひとと地域と未来を結ぶ  
相川沿いの憩いのスペース

桜並木と春風にそよぐ約350鯉のぼり<sup>\*</sup>。相川(右岸)沿いの古い建屋をリノベーションしたオープンスペースです。週末カフェでは、こだわりのスパイスカレーとスパイスドーナツ、丁寧に自家焙煎した豆をエスプレッソで味わうコーヒーメニューなどが楽しめます。音楽、アート、書籍、ワークショップなど、様々なイベントも定期的で開催されています。

<sup>\*</sup>「相川鯉のぼり一斉遊泳」は3月下旬~5月上旬に開催

2023年1月20日OPEN

シンプル&モダンなラウンジスペース

岐阜県不破郡垂井町1101-4  
営業時間/カフェ11:00~16:00(土日限定)  
定休日/月~木曜日